

# 平成26年度 学校法人純美禮学園

## 事業報告及び決算概要報告について

### ◆ 沿 革

#### I 法人の概要

#### II 学園の法人会議及び監査について

#### III 各部門の教育推進の概要

#### IV 決算概要説明

##### <付 表>

- ・ 資金収支計算書 (第1表)
- ・ 資金収支内訳表 (第2表)
- ・ 消費収支計算書 (第3表)
- ・ 消費収支内訳表 (第4表)
- ・ 貸借対照表 (第5表)
- ・ 財産目録 (第6表)

#### V 監事監査報告書

### 【参 考】

- ・ 「学生・生徒・園児数」(平成27年5月1日現在)

法人本部

## ◆ 沿革

年	月	事	項
大正 7 年	4 月	松村裁縫速進教授所開設	大津市北国町（現 三井寺町）
8 年	4 月	大津裁縫速進教授所と改称	
15 年	4 月	大津市蔵橋町（現 浜大津二丁目）へ教授所移転	
昭和 3 年	4 月	大津裁縫女学校開校	校長に中野富美就任
6 年	4 月	大津高等裁縫女学校に改組	同校専攻科卒業者に対し 小学校裁縫専科正教員無試験検定資格が、県知事から付与される
12 年	4 月	大津市梅林町に新築移転	
19 年	4 月	財団法人純美禮学園に改組	理事長に中野富美就任 滋賀高等女子実業学校と校名変更
23 年	4 月	学制改革に伴い新制高等学校に改組	大津家庭高等学校に校名変更
26 年	4 月	財団法人純美禮学園を学校法人純美禮学園に組織変更	理事長に中野富美就任
36 年	4 月	滋賀女子高等学校に校名変更	
37 年	12 月	滋賀女子高等学校	大津市朝日が丘に校舎新築
38 年	11 月	第二期工事	講堂兼体育館竣工
41 年	3 月	理事長に松村信蔵就任	
43 年	8 月	第三期工事竣工	梅林校舎を廃し朝日が丘に校舎統合
45 年	4 月	滋賀女子短期大学 開学	服飾学科、幼児教育学科の二学科設置 滋賀女子高等学校に普通科新設
47 年	10 月	滋賀女子高等学校	中野富美顕彰記念館竣工
49 年	5 月	滋賀女子短期大学	体育館竣工
51 年	4 月	理事長に原山淑夫就任	
55 年	4 月	滋賀女子短期大学附属幼稚園	開園
56 年	8 月	理事長に中野幹夫就任	
57 年	11 月	滋賀女子高等学校	普通科棟竣工（現 3 号館）
59 年	3 月	滋賀女子短期大学	音楽棟竣工（現 3 号館）
62 年	4 月	滋賀女子短期大学	秘書科新設
63 年	5 月	学園創立 70 周年記念式典	挙行
63 年	10 月	滋賀女子高等学校	第二体育館竣工
平成 3 年	3 月	滋賀女子高等学校	普通科棟増築竣工（新館）
3 年	4 月	滋賀女子短期大学	服飾学科を生活学科に科名変更
6 年	3 月	滋賀女子短期大学	学舎増築（3 号館）
9 年	4 月	滋賀女子高等学校	家政科を生活創造科に科名変更

11年	3月	滋賀女子高等学校	体育館建替竣工（第一体育館）
12年	4月	滋賀女子短期大学	秘書科をビジネスコミュニケーション学科に科名変更
15年	4月	滋賀女子短期大学	幼児教育学科を幼児教育保育学科に科名変更
16年	4月		理事長に松村文夫就任
17年	4月	滋賀女子短期大学	生活学科に製菓衛生師養成校の指定を受ける
20年	4月		共学化に伴い学校名変更 滋賀女子短期大学を滋賀短期大学へ 滋賀女子高等学校を滋賀短期大学附属高等学校へ 滋賀女子短期大学附属幼稚園を滋賀短期大学附属幼稚園へ
20年	5月		純美禮学園90周年記念式典挙行
21年	3月		(財)短期大学基準協会における第三者評価の結果 適格と認定される
21年	3月	滋賀短期大学	生活学科に栄養士養成施設の指定を受ける
22年	1月	滋賀短期大学	生活学科に栄養教諭免許（2種）授与の課程認定を受ける
22年	4月	滋賀短期大学附属高等学校	生活創造科を人間総合科に科名変更
22年	11月	滋賀短期大学附属高等学校	2号館耐震工事完了
23年	10月	滋賀短期大学	ビジネスコミュニケーション学科に日本医師会認定医療秘書養成校の認定を受ける

## I 法人の概要

- ・ 設置する学校の概要（平成26年5月1日現在）

学 校 名	学 科	定 員		現 員	
		入学定員	総定員	入学数	総数
滋賀短期大学	生 活 学 科	80 人	160 人	68 人	145 人
	幼児教育保育学科	170	340	151	333
	ビジネスコミュニケーション学科	100	200	66	157
	計	350	700	285	635
滋賀短大附属 高等学校	普 通 科	200	600	212	581
	(生活創造科) 人間総合科	80	240	53	137
	計	280	840	265	718
滋賀短期大学 附属幼稚園	3歳・4歳・5歳児	60	170	63	184

- ・ 役員・教職員の概要（平成26年4月1日現在）

### 【役員】（理事9名 監事2名）

理事長	松村 文夫（常勤）	理 事	高井 八良（非勤）
理 事	佐藤 尚武（常勤）	理 事	松村 哲夫（非勤）
理 事	村田千栄子（常勤）	理 事	山本 正史（非勤）
理 事	小野 清司（常勤）	理 事	山田 義和（非勤）
理 事	井上 清久（常勤）	監 事	山根 重雄（非勤）
		監 事	馬場 章（非勤）

### 【評議員】評議員 井上 清久 以下19名

### 【教職員の概要（非常勤外数）】（平成26年5月1日現在）

教員 96名（78名） 職員 37名（15名）

<内訳>

短期大学	教 員	33名（72名）	職 員	25名（11名）
高等学校	教 員	49名（6名）	職 員	6名（3名）
幼稚園	教 員	14名	職 員	1名
法人本部			職 員	5名（1名）

## II 法人会議及び監査の実施状況

### ◇ 法人の会議等

<理事会・評議員会>						
年度	月日	会議区分	議 題 等			
平成26年	5月27日	理 事 会	1. 平成25年度事業報告について			
			2. 平成25年度決算について			
			3. 平成25年度監査報告について			
			4. 理事の選任について			
			5. 評議員の選任について			
			6. 理事長の選任について			
	5月27日	評議員会	1. 平成25年度事業報告について			
			2. 平成25年度決算について			
			3. 平成25年度監査報告について			
	12月19日	理 事 会	1. 平成26年度予算の補正について			
			2. 学校法人純美禮学園職員給与規程の一部改正について			
			3. 滋賀短期大学学則の一部改正並びに滋賀短期大学教授 会規程の一部改正について			
			4. 滋賀短期大学附属高等学校学則の一部改正について			
			5. 学長候補者選考委員会委員の選出について			
			6. 看護専門学校からの経営移譲に伴う取り扱いについて			
	12月19日	評議員会	1. 平成26年度予算の補正について			
			2. 学長候補者選考委員会委員の選出について			
平成27年	2月17日	理 事 会	1. 学長予定者の選出について			
			2. 評議員の推薦について			
			3. 子ども・子育て支援新制度における滋賀短期大学附属 幼稚園の選択について			
		2月17日	評議員会	1. 学長候補者について		
				3月19日	評議員会	1. 平成27年度事業計画について
						2. 平成27年度予算について
	3月19日	理 事 会	3. 評議員の選任について			
			1. 平成27年度事業計画について			
			2. 平成27年度予算について			
			3. 学校法人純美禮学園経理規程の一部改正について			
			4. 滋賀短期大学学費の改正について			
			5. 滋賀短期大学学則の一部改正について			
			6. 滋賀短期大学附属高等学校長の辞任について			
			7. 滋賀短期大学附属高等学校長の任命について			
			8. 理事の選任について			
			9. 評議員の選任について			

<常任理事会>		
年 度	月 日	議 題 等
平成26年	4月25日	1. 当面の諸課題について (1) 経営判断指標について
	6月27日	1. 平成25年度決算における部門別財務分析について 2. 滋賀短期大学における「第3次中期目標・計画」の概要
	9月25日	1. 滋賀短期大学附属高等学校の学費改定概要について 2. 近隣の専門学校からの経営移譲の申し出について
	10月24日	1. 人事院勧告に基づく純美禮学園の給与改定について 2. 滋賀短期大学の学費改定概要について
	11月28日	1. 平成26年度予算の補正概要について 2. 滋賀短期大学附属幼稚園の保育料等改正に伴う収支バランスの考察 3. 看護専門学校からの経営移譲に伴う取り扱いについて
◇法人の監査等		
年 度	月 日	内 容 等
平成26年	4月4日	期首監査(公認会計士)
	5月14日	平成25年度会計決算監査
	15日	
	5月15日	学園監事による公認会計士からの意見聴取
	5月21日	学園監事監査
	7月23日	中間監査(公認会計士)
	9月16日	中間監査(公認会計士)
	11月5日	滋賀県総務課による現地調査
	11月21日	中間監査(公認会計士)
平成27年	2月20日	中間監査(公認会計士)

### Ⅲ 各部門の教育推進の概況

#### <短期大学>

##### Ⅰ. 第3次中期目標・計画による教育研究の推進

平成26年度は、前年度の点検・評価のもとに、第3次中期目標・計画を「平成25年度点検・評価に基づく再策定」として提示し、全学的な取組のもとに推進した。年度末には、学科長、各種委員会委員長及び各センター長による点検・評価を行い、第3次中期目標・計画を「平成26年度点検・評価に基づく総括」としてまとめるとともに、第4次中期目標・計画(平成27年～29年度)の策定に繋げた。

##### 1. 管理運営体制の整備について

○全学的な教学マネジメント体制を構築するために、企画委員会のもとに教学マネジメント部会(学長、副学長、学科長等)を設置し、全学的重要事項の取組を推進した。

○学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律並びに学校教育法施行規則及び国立大学法人法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴い、学則及び教授会規程については一部改正し、併せて内部規則等の総点検と見直しを行った。

○自己点検・評価については、短期大学基準協会による点検・評価活動を継続的に実施し、「平成25年度自己点検・評価報告書」を刊行した。各種委員会(各センターを含む)において、PDCAサイクルの導入を本格化させた。

##### 2. 教育体制の充実に向けて

○カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーについては、学科ごとに点検し、文言等の一部を修正した。

○入学前教育については、幼児教育保育学科が感想文から基礎学力中心の内容に変更し、入学前オリエンテーション時に確認テストを行った。また、幼児教育保育学科ではピアノ基礎講座(2回)を入学前に開講しており、入学前からの指導が定着している。

○キャリア教育については、引き続き、全学的に実施した。関連して、ビジネスコミュニケーション学科では「ビジネス基礎」の授業を設け、基礎学力の向上を図った。また、前年度から開設している「学習支援室」においては全学科の学生を対象に少人数による指導を行った。

○授業評価については、引き続き、学生による授業評価アンケートを実施するとともに、教員による相互授業参観を実施し、授業改善への取り組みを行った。

##### 3. 学生支援体制の充実に向けて

○キャンパス内全面禁煙化については、4月から実施した。

○学長賞については、引き続き、スポーツ活動や文化活動の優秀者に加え、学業成績優秀者にも授与した。

○就職支援については、「すみれカレッジ・ジョブカフェ」に就職コーディネーターを配置し、就職相談を継続した。

○就職支援講座の単位化については、単位化しないという結論を出した。現状では、全学的な取組に無理があるので、当面は学科ごとに就職支援への特徴を検討する。

##### 4. 学生募集体制の充実に向けて

○アドミッションポリシーについては、各学科とも点検し、一部の文言を修正した。

○入学試験については、入試監査部会、入試問題作成部会及び入試運営部会を設け、入試問題作成ガイドライン及び入試運営スケジュールを設定し、入試業務を実施した。

○平成28年度入学生募集については、生活学科では生活クリエイトコースをライフデザインコースに変更すること、ビジネスコミュニケーション学科では流通・ロジスティクスコースの廃止と地域ビジネスコースの新設を検討した。また、生活学科の食健康コースの定員を30名から35名に増員し、製菓マイスターコースの定員を40名から35名に変更案をまとめた。

## II. おもな教育研究活動

### 1. カリキュラムの変更状況

ビジネスコミュニケーション学科

・専門科目における新設科目	3科目	6単位
・専門科目における廃止科目	11科目	20単位
・専門科目における名称変更科目	2科目	4単位
・専門科目における単位数変更科目(1→2単位)	1科目	2単位

### 2. 学生相談の状況 ( )内は前年度人数

- ・学生相談 延べ相談者数 86名 (118名)

### 3. 留年、退学、除籍の状況 ( )内は前年度人数

- ・留年者数 17名 (12名)
- ・退学者数 22名 (28名)
- ・除籍者数 8名 (11名)

### 4. 課外活動の実施状況 ( )内は前年度人数

#### (1) 学生団体の結成(平成26年7月3日現在)

- ・団体結成数 24団体 (26団体)
- ・クラブ・サークル加入者数 244名 (296名)
- ・加入率 39.4% (45.6%)

#### (2) 主な活動成績

- ・第49回全国私立短期大学体育大会(9/1~9/4)

女子バレーボール部	優勝
女子バドミントン部	団体優勝 ダブルス3位
女子ソフトテニス部	団体準優勝 ダブルス優勝、準優勝、3位
男子ソフトテニス同好会	ダブルス優勝
- ・ソフトテニス部女子

関西学生春季リーグ戦(3部)	第2位 (3部残留)
関西学生秋季リーグ戦(3部)	第2位 (3部残留)
滋賀県インドア選手権大会	ダブルス準優勝
- ・バスケットボール部女子

近畿総合選手権大会滋賀県学生予選会	第2位
関西学生秋季リーグ戦(2部)	第12位 (3部降格)
- ・バレーボール部女子

関西大学春季リーグ戦(3部)	第3位 (3部残留)
関西大学秋季リーグ戦(3部)	第3位 (2部昇格)

- ・バドミントン部女子
  - 京都学生リーグ戦(1部) 第5位 (1部残留)
  - 関西学生春季リーグ戦(2部) 第4位 (2部残留)
  - 関西学生秋季リーグ戦(2部) 第5位 (2部残留)
- ・2014KDKファッショングランプリコンテスト
  - 染織新報社賞 生活学科1回生1名
  - 佳作 生活学科2回生1名、1回生4名
- ・一般社団法人日本秘書協会学生エッセイコンテスト
  - 佳作 ビジネスコミュニケーション学科2回生1名

## 5. 卒業生の状況 ( )内は前年度人数

### (1) 卒業生の状況

卒業生数 316名 (278名)

- ・生活学科 69名 (67名)
- ・幼児教育保育学科 162名 (126名)
- ・ビジネスコミュニケーション学科 85名 (85名)

### (2) 卒業生の免許・資格等の取得状況

生活学科

- ・中学校教諭2種 3名(4名)
- ・栄養士免許 26名(22名)
- ・栄養教諭2種 3名(8名)
- ・フードスペシャリスト 8名(2名)
- ・製菓衛生師受験資格 27名(30名)

幼児教育保育学科

- ・幼稚園教諭2種 145名(106名)
- ・保育士資格 132名(97名)
- ・児童厚生2級指導者資格認定書 2名(11名)

ビジネスコミュニケーション学科

- ・上級秘書士認定証 7名(6名)
- ・秘書士認定証 56名(66名)
- ・ウェブデザイン実務士認定証 7名(13名)
- ・レクリエーション・インストラクター認定証 7名(4名)
- ・健康運動実践指導者 0名(-)
- ・上級情報処理士認定証 3名(11名)
- ・情報処理士認定証 60名(51名)
- ・秘書士(メーICAL秘書) 41名(43名)
- ・日本医師会医療秘書合格 19名(17名)

### (3) 就職状況 (平成27年5月1日現在)

- ・就職率 97.4% (97.6%)
- ・幼児教育保育学科就職者の幼・保・施設への就職率 86.2% (79.4%)
- ・総求人件数 954件 (880件)

## 6. 学生募集の状況 ( )内は前年度人数

### (1) 平成27年度入学試験状況

- ・志願者数 382名 (324名)
- ・合格者数 372名 (307名)
- ・入学者数 348名<<内男子40名>> (285名<<内男子40名>>)

### (2) 夏のオープンキャンパス開催状況

- ・開催日 6/14(土)、7/19(土)、8/23(土) <8/10(日)は台風のため中止>

- ・参加者 延べ731名 (640名)
- (3) 秋のオープンキャンパス開催状況
  - ・開催日 11/8(土)・9(日) <学園祭時に開催>
  - ・参加者 40名 (前年度:21名、2日目のみ開催)
- (4) 春のオープンキャンパス開催状況
  - ・開催日 3/25(水)
  - ・参加者 154名 (同上 :157名)

## 7. 教員の状況 ( )内は前年度人数

### (1) 教員数

- ・専任教員数 33名 (33名)
  - うち、特任教員9名(内訳:特任教授4名、特任准教授1名、特任講師1名、特任助手3名)
- ・非常勤教員数 113名 (112名)
  - うち、非常勤特任准教授2名

### (2) 専任教員の授業担当数

	前期担当平均コマ数	後期担当平均コマ数	通年担当平均コマ数
・生活学科	11.1 (10.6)	12.1 (10.9)	11.6 (10.7)
・幼教学科	12.9 (12.2)	12.0 (10.3)	12.5 (11.3)
・ビジ学科	11.5 (12.8)	10.9 (10.5)	11.2 (11.7)

## 8. 外部資金の獲得状況

### (1) 科学研究費助成事業(科研費):文部科学省・日本学術振興会

教員名	研究課題	研究期間	補助金額	研究形態
小山内幸治	大学生への調査に基づく金融リテラシー概念の再検討と金融教育プログラムの構築	H26年度～ H28年度	H26年度 1,170千円 H27年度 1,820千円 H28年度 650千円	単独研究 (研究代表者) 基礎研究 (○)
金澤 雄介	サルデーニャ語の動詞における形態統語論の通時的的研究	H25年度～ H26年度	H25年度 780千円 H26年度 1,170千円	単独研究 (研究代表者) 研究種助スタート 支援
柿木 重宜	レベル別ベトナム語教材作成支援システム開発のための基礎的研究	H25年度～ H27年度	H25～27年度年度毎に 分担金配分額 260千円	共同研究 (研究担者) 基礎研究 (○)

### (2) 地域共生型社会推進事業助成金:滋賀県民間社会福祉事業職員共済会

教員名	事業名	助成金額	助成事業概要
ビジネスクミュニケーション学科 学科長 小山内幸治	大津高齢者産業クラスター形成プロジェクト —お年寄りが安心して暮らせるまちを目指して—	H26年度 200千円 H27年度 300千円	大津市における高齢者の暮らしと、それをささえる事業者の現状を調査し、高齢者産業クラスターの現状を分析し、地域社会の仕組み作りへ貢献しようとする研究

## 9. 研究費の状況

### (1) 個人研究費

専任教員一律25万円

### (2) 学長裁量経費

- ・区分A：日常的研究
  - 特任助手支援研究費(一人あたり 10 万円)：実績 3 人×10 万円(計 30 万円)
  - 特任教員(非常勤)支援研究費(一人あたり 5 万円)：実績 2 人×5 万円(計 10 万円)
  - 新任教員支援研究費：一人あたり 5 万円：
    - 実績 3 人×5 万円+ 1 人×2.5 万円(計 17.5 万円)
- ・区分B：特色ある教育研究
  - 教育課題の解決に向けた教育研究支援経費(1 件 10～20 万円)
    - 申請者 3 名、申請合計額 52 万円、採択合計額 47 万円
  - 地域の教育文化や産業等との連携に向けた教育研究経費(1 件 10～20 万円)
    - 申請者 7 名、申請合計額 120 万円、採択合計額 100 万円
- ・区分C：発展的研究
  - 国際学会等の発表支援経費(上限 1 件 5 万円)
    - 申請者 1 名、申請合計額 5 万円、採択合計額 5 万円
  - 学術雑誌への投稿支援経費(上限 1 件 5 万円) 申請なし
  - 書籍の出版支援経費(上限 1 件 20 万円) 申請なし
- ・区分D：外部資金による研究
  - 科学研究費連動型支援経費(不採択者の支援：上限 1 件 15 万円) 申請なし
  - 外部資金による研究支援経費(支出困難事項の支援：上限 1 件 5 万円) 申請なし
- ・区分E：学内研究会
  - 講師謝金(招聘講師経費：上限 1 件 2.5 万円) 申請なし

## 1 0. 教職員の研修状況

- (1) FD研修
  - ・学内研究会として、2 回開催(11/20、2/5)
- (2) SD研修
  - ・SD研修会として、7 回開催(7/24、11/4、11/19、12/24、12/25、2/9、2/10)
  - ・学園情報処理研修 (8/19～8/20)

## 1 1. 公開講座の開催

- (1) こどもの講座(第 8 回)
  - ・4 講座、延べ開講日数 9 日(8/6～8/27)、受講者総数 55 名
- (2) ステップアップ講座(第 11 回)
  - ・5 講座、延べ開講日数 24 日(8/6～10/28)、受講者総数 41 名
- (3) 教養講座(第 28 回)
  - ・3 講座、2 日間(10/14、10/17)、受講者総数 54 名

## 1 2. 大学及び自治体等との連携事業

- (1) 滋賀医科大学との共催講座
  - ・午前：講演、滋賀医科大学担当
  - ・午後：調理実習、滋賀短期大学担当<台風のため中止>
- (2) 滋賀大学教員免許状更新講習
  - ・選択講座における幼児教育領域の 2 講座を担当

(3) 滋賀県保育協議会との連携講座（家庭的保育事業基礎研修）

- ・実施科目：14 科目、実施総時間：21 時間、実施会場：滋賀短期大学

(4) 地域移動講座

- ・第 1 回講座 高島市(11/19(水)18:00～20:00)、講師：佐藤学長、古橋特任教授  
会場：安曇川公民館、受講者数：26 名
- ・第 2 回講座 甲賀市(12/17(水)18:00～20:00)、講師：佐藤学長、古橋特任教授  
会場：忍の里プララ、受講者数：163 名<甲賀市教育委員会の研修の一環>
- ・第 3 回講座 野洲市(1/21(水)18:00～20:00)、講師：佐藤学長、古橋特任教授  
会場：コミュニティセンターやす、受講者数：24 名

### 1 3. 研究紀要および地域連携年報の刊行

(1) 研究紀要第 40 号

- ・学術論文 5 編、研究ノート 3 編、延べ投稿者数 11 名、印刷部数 400 部

(2) 地域連携年報第 2 号

- ・調査研究プロジェクト 7 編、地域との教育研究活動 9 編、公開講座 3 編、大学・自治体等との連携事業 4 編、高大連携事業 2 編、資料(高大連携事業一覧)、印刷部数 400 部

### 1 4. 施設・設備の整備状況

- |  |           |
|--|-----------|
| ・ 2 号館図書館前女子トイレ改修工事  | 5,307 千円  |
| ・ 2 号館一部内装工事   | 3,654 千円  |
| ・ 教育用機器・図書整備等  | 15,170 千円 |
| ・ 鍵交換整備 (3 号館半分)   | 1,244 千円  |
| ・ 体育館裏等の整備   | 400 千円    |
| ・ 2 号館教室棟耐震診断  | 2,344 千円  |
| ・ 特殊建築物定期報告  | 718 千円    |
| ・ 省エネタイプ空調機等導入による省エネルギー事業工事<br><補助金採択事業であり、補助金(10,921,366 円)を含む> | 47,044 千円 |

## <高等学校>

### 1. 学習（体験）活動

#### ア 福祉体験

1年生が、3日間高齢者福祉施設および保育所・幼稚園にて保育・介護体験学習

1年生人間総合科が附属幼稚園および本校で保育体験学習

#### イ 伝統文化体験

人間総合科：生徒製作浴衣の着付け体験学習、和装の着装の講義と実践。茶道における「客の心得」の体験学習。藤三郎紐の太田藤三郎氏を招聘しての組紐体験。

剣舞の鑑賞およびフレッシュ講座剣舞選択生実技披露（芸術鑑賞行事）

#### ウ 国際理解教育講演

看護師資格を有している駒井佐栄子さんより「国際社会に生きるとは～海外での仕事や生活を通して思うこと」を演題に、オーストラリアやイギリスでの就労の体験を映像を交えて語っていただいた。

#### エ フレッシュ講座

教師が得意とする分野や外部講師を招いて、講座（34講座）を開講し、生徒はそこから挑戦したい講座を選び1年間学ぶ。剣舞、和風ちぎり絵、郷土研究、保育講座、ボランティア活動、スポーツ、文学語学に関わる学習、検定やコンテストに挑戦、ものづくりなど日常の教科学習では学べない幅広い分野で実施している。

#### オ 全校生徒のスポーツ活動、文化活動

・スポーツフェスティバル：7月1日 竜王町ドラゴンハットにて開催

・文化祭：7月17日 大津市民会館、7月18日 本校にて開催

・すみれピック：3月16日 球技4種目、文化的競技4種目で開催

#### カ 宿泊体験・校外体験学習

・4月上旬（年度当初）に1年生は、教師と生徒、生徒相互の人間的なふれあいを経験し、集団生活への適応を図ることを目的として、若狭湾青少年自然の家にて2泊3日の宿泊研修を実施。その期間に2年生・3年生は学年、類型に応じた集団生活への適応力を養うとともに、専門学科の学習や進路学習への意欲を高めることを目的とした校外学習を実施している。

・2年Ⅱ類：ミシガン州立大学連合日本センターでの英語研修。2年Ⅰ類：京都市内で友禅染体験と京都府木津市の住宅メーカー研究所（納得工房）で住居に関する研修。大学、短大、専門学校見学。人間総合科：大学、短大、専門学校見学。京都山ばな平八茶屋より講師を招いて「和食を考える」体験学習。

・3年生：Ⅱ類：希望が丘にて2泊3日の学習合宿。Ⅰ類：大学、短大、専門学校見学。人間総合科：ホテルピアザびわ湖にてテーブルマナー講習

・10月8日～9日 1年人間総合科 食品・衛生・栄養についての講義、食品加工工場の見学と養鱒場での体験

・10月15日～16日 1年Ⅱ類生徒比叡山居士林で宿泊研修体験

・10月4日 3年生Ⅰ類、人間総合科生徒比叡山登山と延暦寺会館での座禅・写経体験

#### キ 講演（啓発）活動

1年生対象 薬物乱用防止講演 大津警察署 寺元敏子氏

税の教室「私たちの生活と財政の役割」大津税務署田村好宏氏、岡田税理士事務所岡田博之氏、他4名

- 3年生対象 「年金講話」日本年金機構大津年金事務所 松原氏他5名。(2クラス合同×4講座)  
「高校生『法』教育講座」滋賀県司法書士会古川・福井氏他8名が「契約」についての講座(2クラス合同×4講座)
- 全学年対象 創立記念行事記念講演「ソチオリンピック5位入賞までの軌跡」岡田良菜氏  
人権共同映画鑑賞「そして父になる」  
人権講演「情報モラル～事例に学ぶインターネットの安心・安全な使い方」グリー株式会社 小木曾健氏

#### ケ 国際交流

##### ・海外研修

10月上旬に2年生海外研修旅行を実施(3泊5日)。

Ⅱ類はシンガポールホームステイ。Ⅰ類・人間総合科はマレーシア・シンガポール

8月下旬に2年Ⅱ類生徒対象に実践英会話講座を5日間実施。

3月12日に第2学年海外研修報告会を実施し、1年生に参観させることにより次年度の海外研修の事前学習とした。

- ・ミシガン州立大学連合日本センター留学生1名のインターンシップを受け入れた。6月～7月にかけて英語の授業補助、SHRや掃除参加、部活動体験、クラス行事や学校行事への参加など交流を深めた。

#### コ エコフオスター活動

滋賀県が実施する淡海エコフオスター事業に参加し、毎月1回、校外清掃活動を行う。

#### サ 防犯ヤングボランティア(スマレンジャー)活動

- ・大津署より委嘱を受けた生徒会執行部員と有志クラブ員が「スマレンジャー」として活動。
- ・5月22日本校正門にて大津署員とともに自転車通学安全指導を実施。
- ・10月11日西武百貨店前で大津署員とともに犯罪防止の啓発ビラや防犯グッズを配布。

#### シ その他のボランティア活動

フレッシュ講座「ボランティア」選択者による大津駅前での緑の募金活動、校舎内外清掃活動、琵琶湖岸にてブラックバス駆除活動

## 2. 進路指導

- ア ・3年生就職希望者を対象に、キャリアガイダンスを実施。【大津ハローワーク】
- ・3年生就職希望者を対象に、連続面接指導(6回)を実施。【ライセンスアカデミー】
  - ・3年生・2年生の看護系希望者対象進路学習会を実施。【滋賀県看護協会】
  - ・3年生・2年生の教育系希望者対象進路学習会を実施。【滋賀県教育委員会・滋賀の教師塾】
  - ・2年生対象に、分野別ガイダンスを14会場で実施。(5/28)
  - ・2年生を対象に、「進路情報を知り自らの適性を知る」を実施。
  - ・2年生を対象に大学・短大・専門学校の研究(学習)内容についての分野別学習。18の分野。3ローテーション
  - ・1年生全生徒を対象に自ら主体的に将来を考えて進路選択ができるように夏休みに「じぶん未来BOOK」を書かせ、その後、担任による進路意識向上の進路学習会を実施。
  - ・1・2年普通科Ⅱ類大学見学会(12月京都産業大学)
  - ・2年普通科Ⅱ類「生徒夢なびライブ(大学発見)」参加
- イ 進学特別セミナー(学校内予備校)を3年生希望者対象に実施。29名参加。

ウ 卒業生の進路決定状況

大学	短大	専門・各種	就職	その他	合計
87名	65名	50名	16名	11名	229名

3. 施設・設備の充実

ア 下足箱の取替更新	4,752 千円
イ 3号館非常階段塗装工事	1,890 千円
ウ 第二体育館床研磨工事	1,275 千円
エ 電気室関係保全（気中開閉器・変圧器取替等）	1,217 千円
オ 空調機更新（図書館）	912 千円
カ 体育館用折りたたみ椅子の更新<卒業寄附事業>	1,175 千円
キ マイクロバスの購入<後援会一部寄附事業>	6,977 千円

4. 生徒募集関係

◆中学校・塾訪問（滋賀県96校、京都7校、塾300校）年5回

ア 生徒・保護者対象のオープンスクール開催（6月、8月、10月、11月4回）

イ 11月、12月に生徒保護者対象の学校説明会を開催（2回）

ウ 塾対象の入試説明会2回実施（4月、9月）

エ 滋賀の私立学校展に参加（イオンモール草津 8/30,8/31 彦根ビバシティ 8/24）

オ 中学校主催入試説明会に参加（21回）

カ 塾主催の進学説明会に参加（5校）

キ 中学校教員対象説明会（1回）

入 試 結 果 (男子内数) (単位：人)

区 分	専・併	普通科	人間総合科	合 計
志願者数	専 願	113 (42)	36 (2)	149 (44)
	併 願	1078 (484)	141 (8)	1219 (492)
	合 計	1191 (526)	177 (10)	1368 (536)
合格者数	専 願	111 (41)	35 (1)	146 (42)
	併 願	1044 (458)	128 (3)	1172 (461)
	合 計	1155 (499)	163 (4)	1318 (503)
入学者数	専 願	111 (41)	35 (1)	149 (42)
	併 願	88 (40)	14 (0)	102 (40)
	合 計	199 (81)	49 (1)	248 (82)

普通科Ⅱ類 志願者数 558人 (内男子236人)

入学者数 55人 (内男子 21人)

5. 体育クラブの活動（主な成績）

●全国高校総合体育大会出場

バドミントン（団体、複1組）団体2回戦敗退、バスケットボール1回戦敗退

●全国高校選抜大会

バスケットボール、バドミントン

## ●近畿大会

バスケットボール、バドミントン（単3人、複3組）、バレーボール、ソフトテニス（女）（複1組）

## ●県内等各種大会結果（主なもの、団体ベスト8以上、個人ベスト16以上）

### ・バスケットボール（女）

春季高校総体優勝、秋季高校総体優勝

### ・バドミントン（女）

春季高校総体（団体優勝、単3位、複2位）、秋季高校総体（団体優勝、単優勝、複優勝）

### ・バレーボール（女）

春季高校総体（3位）、秋季高校総体ベスト8

### ・ソフトボール（女）

春季高校総体ベスト8、秋季高校総体ベスト4

### ・陸上競技（男・女）

秋季高校総体（女子走高跳6位、女子1500M7位）

### ・ソフトテニス（女） 秋季高校総体（団体準優勝、ベスト8 1ペア）

### ・硬式野球部

春季大会（2回戦敗退）、選手権大会県予選（3回戦敗退ベスト16）、秋季大会（1回戦敗退）、1年生大会（3回戦敗退ベスト16）

### ・バスケットボール（男）

### ・ソフトテニス（男）

### ・剣道（男・女）

### ・卓球（男・女）

} 県高校総体出場

### ・フットサル（男）

あがりゃんせCUP、U18フットサルフェスティバル出場

## 6. 文化クラブの活動

### ・吹奏楽

県高文祭参加、滋賀県吹奏楽祭参加、県吹奏楽コンクール銀賞、

県アンサンブルコンテスト銅賞

第5回定期演奏会実施

平成27年度全国高文祭に5名出場予定

### ・書道部 高野山競書大会準特選等2名入選、全国書き初め大展览会特選等2名入選

## 7. その他

### ・ゴルフ 日本女子オープンゴルフ、アジアパシフィックジュニアカップ、全国高等学校ゴルフ選手権大会、全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦、国体等出場

1年吉本ひかる

国体出場 2年吉本百花

### ・女子サッカー セレッソ大阪レディース所属、U18代表候補（GK）1年西中麻穂

### ・ジャグリング 芸王グランプリ西日本大会優勝 1年木下洗希

### ・全国きものデザインコンクール 銀賞1名・入選2名

## <幼稚園>

### 1 平成27年度の園児募集の状況

- ・入園希望者 64人 (H26 71人・H25 80人・H24 81人)
- ・入園児数 53人 (3歳児50人・4歳児3人)

### 2 教育指導状況

- ・建学の精神、文科省教育要領を踏まえて、平成26年度教育課程大綱の作成と実践。
- ・全国幼児教育研究協会より環境の事例研究園に選ばれて実践 (県より3園)
- ・「揃える保育から考える保育へ」「待たせる保育から見通しのある保育へ」
- ・預かり保育の実施

平成26年度実績 述べ 3,915人

(25年度実績 述べ 3,271人、24年度実績 述べ 3,119人)

### 3 教員の資質向上と研修

- ・園内研修を毎月2回程度、水曜日等に実施。
- ・夏季休業中は、全国幼児教育研究大会徳島大会を初め各種の研修に積極的に参加。
- ・「特別支援教育」「幼児理解と環境構成」「幼児の感性を表出させる表現指導」等外部講師を招いての研修会の開催
- ・園長の「子供の体力向上指導者養成研修・福岡県」への参加
- ・主任教諭の公開保育コーディネーター研修への参加。
- ・幼児教育の5領域、「環境」を中心とした学生の気づき、観察等の研究協力

### 4 滋賀短期大学幼児教育保育学科等の学生等受け入れ状況

- ・2回生の教育実習 前期 6月2日～6日の期間 9人  
後期 9月1日～12日の期間 10人
- ・「幼児体育」選択の学生 火曜日、金曜日に40人程度
- ・生活学科の学生による「カレーライス」「竹の子ご飯」「秋の実りご飯」の提供に交流 (カレーライス、竹の子は緑の広場による収穫。年長児は実習室において皮むき、包丁の使い方の実技指導を受ける)
- ・スポーツ教室、チャレンジ教室、クッキング教室等の実施。
- ・短大附属高校の家庭科学習内容に伴う受け入れ。
- ・中学校職場体験 (打出中学、皇子山中学2年生) の受け入れ。
- ・夏祭り (PTA主催)、祖父母交流の園行事に地域や年齢層を広げての参加呼びかけ。

### 5 施設設備の整備改善

- |                     |         |
|---------------------|---------|
| ・LEDライト交換 (遊戯室・保育室) | 1,622千円 |
| ・手洗い場改修 (年少)        | 950千円   |
| ・緑の広場等環境管理費         | 400千円   |
| ・安田式低鉄棒6本セット        | 330千円   |

#### IV 平成26年度 決算概要説明

##### 【学校法人会計と企業会計】

「学校法人会計基準」に定められた計算書には、資金収支計算書と消費収支計算書および貸借対照表の3種類がありますが、この様式は補助金交付の観点からの表示区分となっているため、一般的によく知られている企業会計の損益計算書や貸借対照表とは異なる点も多くあります。

企業会計は、企業の収益と費用を正しくとらえ、その財務状態や経営成績などを知るためのものですが、学校法人会計は学校の教育研究活動が円滑に行われているか、そのために必要な施設・設備や人員などが整備されているか、また必要な資金・財産が正しく管理されているかを知るためのものとなっています。

「資金収支計算書」は当該年度の諸活動に対応するすべての資金の収入・支出の内容および支払資金のてん末を明らかにします。資金収支計算書は企業会計でいうところのキャッシュフロー計算書であるため、収入には借入金収入や前受金収入等が含まれ、支出では借入金返済支出や資産運用支出等が含まれます。

「消費収支計算書」は当該年度の消費収入と消費支出の内容及び均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状態が健全であるかどうかを判断することができます。

「貸借対照表」はある時点（決算日）における資産、負債、基本金、消費収支差額の内容及び残高を示し、学校法人としての資産の保有状況と財政状態を明らかにしています。

##### 【各計算書における主な科目について】

###### ○資金収支計算書、消費収支計算書の共通科目

学生生徒等納付金（収入）	学生生徒から納入された授業料・入学金・施設費等の収入です。
手数料（収入）	入学検定料や証明書発行手数料等の収入です。
寄付金（収入）	金銭等の寄付金で、消費収支計算書では現物寄付金を含みます。
補助金（収入）	国や地方公共団体から交付される助成金です。
資産運用収入	奨学基金の運用収入や預貯金の受取利息、施設貸与の収入等です。
事業収入	公開講座の受講料等、教育研究活動に付随する事業の収入です。
人件費（支出）	教職員等に支給する給与や所定福利費等です。
教育研究経費（支出）	教育研究のために支出する経費です。
管理経費（支出）	総務・人事・経理業務や学生募集活動等、教育研究活動以外の活動に支出する経費です。
借入金等利息（支出）	借入金に係る利息として支出する経費です。

###### ○資金収支計算書のみにみられる主な科目

資産売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却収入です。
前受金収入	翌年度以降の諸活動に対応する収入を当年度中に資金収入したものの、具体的には、翌年度入学生に係る学生生徒納付金収入などです。
資金収入調整勘定	資金の収入が前年度または翌年度に行われる収入項目のことで、具体的には「期末未収入金」や「前期末前受金」等です。
借入金等返済支出	借入金に係る返済のため支出する経費です。
施設関係支出	諸活動に使用する目的で取得する土地・建物・構築物等のため支出する経費です。

設備関係支出	諸活動に使用する目的で取得する教育研究用機器備品・その他の機器備品・図書・車輛・ソフトウェア等のため支出する経費です。
資産運用支出	学校法人の資金運用目的による支出です。
資金支出調整勘定	資金の支出が前年度または翌年度に行われる支出項目の事です。具体的には「期末未払金」や「前期末前払金」等です。

○消費収支計算書のみみられる主な科目

資産売却差額	資産売却収入が帳簿残高を超えた場合、その超過額をいいます。
帰属収入	学校法人のすべての収入のうち、負債の増加とならない収入です。借入金や前受金、預り金は負債性があることから除かれます。
基本金組入額	学校法人が諸活動の計画に基づき、必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、帰属収入のうちから組入れた金額です。
消費収入	帰属収入の額から基本金への組入額を控除した金額です。
資産処分差額	資産の帳簿残高が資産売却収入を超えた場合、その超過額をいいます。また売却以外で除去損や廃棄損も含まれます。
徴収不能引当金繰入額	前期以前に計上した未収入金で、当期において回収不能と判断した額をいいます。
消費支出	人件費や教育研究経費等、用役の対価に基づく支出額及び、減価償却額等、消費する資産の取得価額に基づく減少額をいいます。

○貸借対照表にみられる主な科目

固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用する資産をいいます。
流動資産	現預金等貸借対照表日後1年以内に使用する資産をいいます。
固定負債	長期借入金等、返済の期限が1年を超えて到来する負債の事です。
流動負債	短期借入金等、返済の期限が1年以内に到来する負債の事です。
基本金	第1号基本金:学校法人が設立当初に取得した教育用の固定資産や新たな学校の設置・規模の拡大・教育の充実向上のために取得した固定資産の額をいいます。 第2号基本金:将来取得する固定資産に充てる金銭その他の資産の額をいいます。 第3号基本金:基金として継続的に保持し、かつ運用することでその果実を教育研究に使用する金銭その他の資産をいいます。 第4号基本金:恒常的に保持すべき資金の額をいいます。
消費収支差額	当年度以前の各年度の消費収入から消費支出を差し引いた差額の累計額です。消費収支計算書において消費収入が消費支出より多い場合は「当年度消費収入超過額」と表示し、その逆の場合を「当年度消費支出超過額」と表示します。

## 【 資金収支決算 】

資金収入及び資金支出の合計は、それぞれ2,349,817千円で、予算（補正予算）より、27,282千円増加した。

予算との差異が大きかった科目の主因は次のとおりである。

資金収入の部において、補助金収入は国庫補助金収入が2,949千円減少し滋賀県補助金が3,265千円増加し合計では316千円の増加となった。資産運用収入2,731千円の増は、特定資産として保有している債券の効果的な運用による受取利息・配当金収入の増加である。雑収入51,510千円の増は、年度末退職者の増加による退職金財団からの交付金の増によるものである。前受金収入14,199千円の増は、短期大学における納付予定者数の増によるものである。資金収入調整勘定（期末未収入金）の増は、退職者の退職金財団から交付金の未収や高等学校及び幼稚園における滋賀県振興補助金の追加補助の未収等である。

資金支出の部において、人件費支出53,539千円の増は年度末退職者の退職金支出によるものである。教育研究経費支出25,841千円の減、管理経費支出8,398千円の減は、計画予算の縮小や経費節減によるもの他、教育研究経費支出の小科目、消耗品費支出8,382千円の減、業務委託費支出7,229千円の減等によるものである。管理経費支出の小科目、旅費交通費支出1,908千円の減、業務委託費支出1,504千円の減等予算計上の差異によるものである。設備関係支出3,775千円の減は、短期大学における225教室の固定机・椅子の取替え工事を見送ったこと等によるものである。資産運用支出30,898千円の増は、減価償却引当特定資産への積増し等を行ったことによるものである。資金支出調整勘定（期末未払金）12,975千円の増は、経費の支払、退職金財団掛金等である。

よって、次年度繰越支払資金は、予算額より6,440千円増の610,310千円となった。

## 【 消費収支決算 】

帰属収入合計は、1,716,920千円となり、予算より22,487千円増額となった。

増加した主な科目は、資産運用収入2,731千円、雑収入18,148千円等である。一方減少した科目はない。

基本金組入額の合計は115,345千円で、その内訳は、設備関係77,426千円、研修補助基金への積増28千円、短大教育研究充実基金への積増2,361千円、借入金返済による組入35,530千円であり、前年度より35,492千円の組入増となった。帰属収入に対する組入額の比率は6.7%で、前年度の同比率4.5%より2.2%増となった。予算との比較では8,554千円の組入減となった。その主な原因は、教育研究用機器備品の除却等による組入額の減少等によるものである。

以上の結果、帰属収入合計から基本金組入額合計を控除した消費収入の部合計は1,601,575千円となり、予算より31,041千円増加した。

消費支出の部合計は1,625,788千円となり、予算より7,604千円増加した。

増加した主な科目と増加額は、人件費50,928千円、資産処分差額6,928千円等である。

一方減少した科目は、教育研究経費30,586千円、管理経費8,633千円である。

以上により、消費収支差額は、予算額47,650千円の支出超過額から23,437千円改善して24,213千円の支出超過となった。

基本金取崩について、教育用機器備品及びその他の機器備品についての減価償却はグループ償却を行っており、公認会計士の指導もあったことから耐用年数が経過した備品について帳簿上除却を行ったことに

より 885,684 千円の基本金の取崩を計上した。

よって、**累積支出超過額**は、**前年度繰越消費支出超過額** 1,992,981 千円と**当年支出超過** 24,213 千円の合計額から、**基本金取崩額** 885,684 千円を減じた 1,131,510 千円を翌年度へ繰越すこととなった。

### ◆◆◆ 主要財務比率の経年比較表 ◆◆◆

比 率	算式 (×100)	平成22年度 (決算)	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算)
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	63.7%	68.0%	66.2%	69.2%	66.2%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	97.0%	102.3%	99.2%	107.6%	102.5%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	22.9%	20.6%	21.9%	22.8%	23.2%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	5.1%	5.1%	5.0%	5.4%	4.7%
帰属収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	92.3%	94.2%	93.4%	97.7%	94.7%

#### 【貸借対照表】

**資産の部合計**は 5,165,866 千円で、前年度末より 124,868 千円 (2.4%) 増加した。

その主な要因は「有形固定資産」の建物等の減価償却による減少と「その他の固定資産」における引当特定資産の増加 (減価償却引当特定資産の積増 120,000 千円) 及び「流動資産」現金預金の増加と未収入金の減少 (退職金財団交付金の減少) 等の増減結果によるものである。

その内訳は、**固定資産**は、前年度末より 76,949 千円の増加 (有形固定資産 45,440 千円の減、その他の固定資産 122,389 千円の増) **流動資産**では、前年度末より 47,919 千円増加となった。

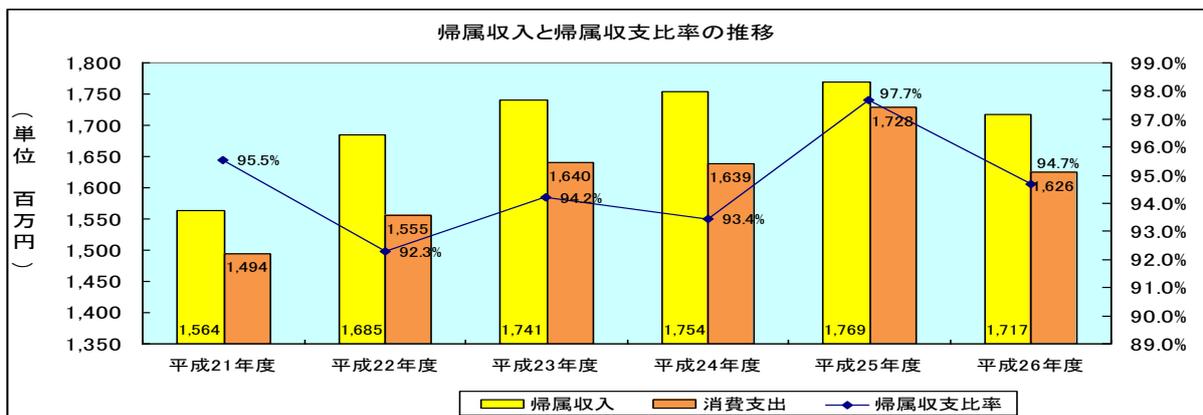
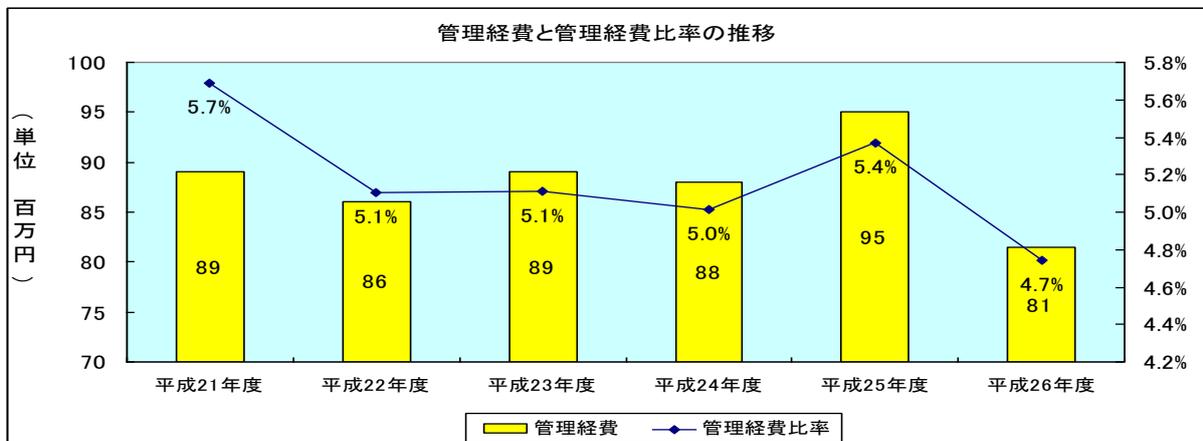
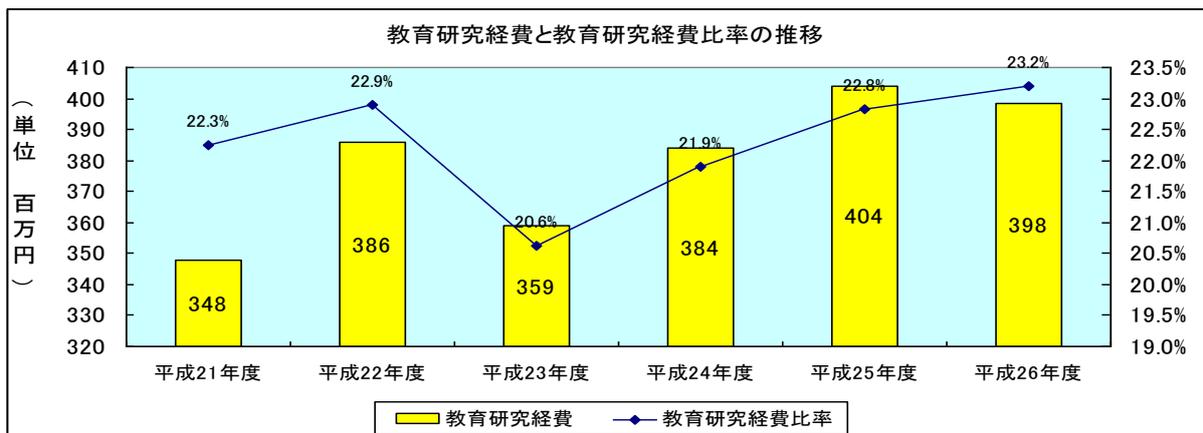
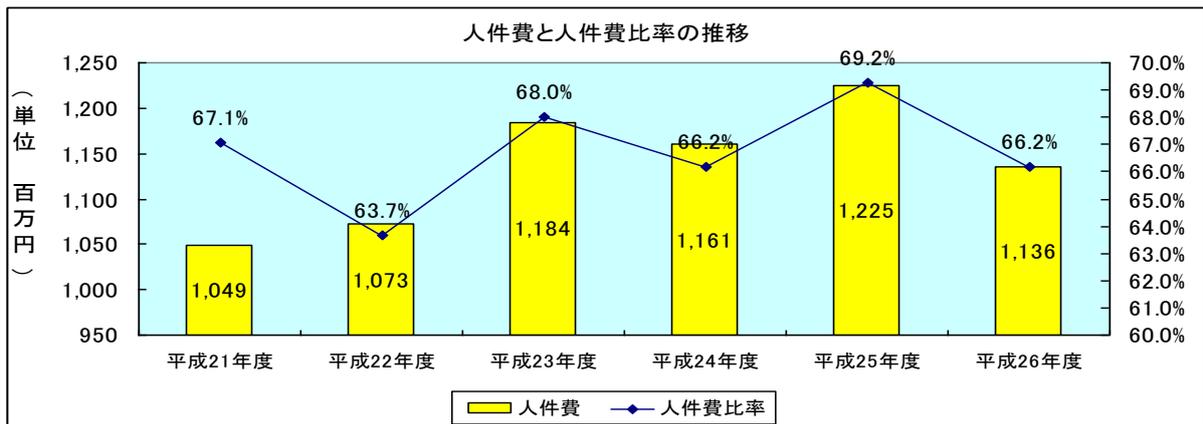
**負債の部合計**は 761,794 千円で、前年度末より 33,736 千円増加した。

その主な要因は長期借入金の計画的返済による減少、学生生徒等納付金の前受金の増加と退職給与引当金及び未払い金等の増加との相殺によるものである。

**基本金**は 115,345 千円組入をしたが会計処理の変更 (グループ償却による耐用年数満了備品の除却) による機器備品の除却による基本金の取崩を行った結果、5,535,582 千円となった。

<参考>

比 率	算式 (×100)	平成22年度 (決算)	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (決算)
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	132.7%	157.2%	203.0%	215.9%	197.4%



第1表

## 資 金 収 支 計 算 書

平成26年4月 1日から

平成27年3月31日まで

## 収入の部

(単位 千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,107,907	1,108,175	△ 268
手数料収入	39,680	39,982	△ 302
寄付金収入	11,085	10,865	220
補助金収入	417,582	417,898	△ 316
国庫補助金収入	111,247	108,298	2,949
地方公共団体補助金収入	306,335	309,600	△ 3,265
資産運用収入	36,631	39,362	△ 2,731
資産売却収入	8,000	8,000	0
事業収入	6,079	6,284	△ 205
雑収入	34,107	85,617	△ 51,510
前受金収入	259,300	273,499	△ 14,199
その他の収入	149,081	162,397	△ 13,316
資金収入調整勘定	△ 289,152	△ 344,497	55,345
前年度繰越支払資金	542,235	542,235	0
収入の部合計	2,322,535	2,349,817	△ 27,282

## 支出の部

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,066,872	1,120,411	△ 53,539
教育研究経費支出	305,482	279,642	25,840
管理経費支出	87,345	78,947	8,398
借入金等利息支出	2,956	2,956	0
借入金等返済支出	35,530	35,530	0
施設関係支出	518	518	0
設備関係支出	85,191	81,416	3,775
資産運用支出	102,128	133,026	△ 30,898
その他の支出	47,242	46,721	521
〔予 備 費〕	12,085	■	12,085
資金支出調整勘定	△ 26,685	△ 39,660	12,975
次年度繰越支払資金	603,870	610,310	△ 6,440
支出の部合計	2,322,534	2,349,817	△ 27,283

注：予備費15,000千円の内2,915千円を使用した。

## 第2表

## 資金収支内訳表

平成26年4月 1日から

平成27年3月31日まで

## 収入の部

&lt;総括表&gt;

(単位 千円)

科目	部門	滋賀短期大学	滋賀短期大学 附属高等学校	滋賀短期大学 附属幼稚園
学生生徒等納付金収入		676,083	397,594	34,497
手数料収入		12,221	27,566	195
寄付金収入		2,292	8,572	0
補助金収入		108,392	261,277	48,229
国庫補助金収入		108,298	0	0
地方公共団体補助金収入		94	261,277	48,229
資産運用収入		16,213	12,217	1,042
資産売却収入		4,080	3,520	400
事業収入		341	0	5,943
雑収入		49,435	36,183	0
	0	869,057	746,929	90,306

## 支出の部

(単位 千円)

科目	部門	滋賀短期大学	滋賀短期大学 附属高等学校	滋賀短期大学 附属幼稚園
人件費支出		564,027	453,943	71,364
教育研究経費支出		147,469	109,820	22,353
管理経費支出		46,783	25,854	976
借入金等利息支出		0	2,956	0
借入金等返済支出		0	35,530	0
施設関係支出		518	0	0
設備関係支出		65,701	15,039	477
計		824,498	643,142	95,170

第3表

## 消費収支計算書

平成26年4月1日から  
平成27年3月31日まで

消費収入の部 (単位 千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,107,907	1,108,175	△ 268
手数料	39,680	39,982	△ 302
寄付金	11,085	11,602	△ 517
補助金	417,582	417,898	△ 316
国庫補助金	111,247	108,298	2,949
地方公共団体補助金	306,335	309,600	△ 3,265
資産運用収入	36,631	39,362	△ 2,731
資産売却差額	8,000	8,000	0
事業収入	6,079	6,284	△ 205
雑収入	67,469	85,617	△ 18,148
帰属収入合計	1,694,433	1,716,920	△ 22,487
基本金組入額合計	△ 123,899	△ 115,345	△ 8,554
消費収入の部合計	1,570,534	1,601,575	△ 31,041

消費支出の部

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,085,095	1,136,023	△ 50,928
教育研究経費	428,215	397,629	30,586
管理経費	90,642	82,009	8,633
借入金等利息	2,956	2,956	0
資産処分差額	0	6,928	△ 6,928
徴収不能額	0	243	△ 243
〔 予 備 費 〕	11,276		11,276
消費支出の部合計	1,618,184	1,625,788	△ 7,604
当年度消費支出超過額	47,650	24,213	
前年度繰越消費支出超過額	1,992,981	1,992,981	
基本金取崩額	—	885,684	
翌年度繰越消費支出超過額	2,040,631	1,131,510	

注：予備費12,000千円の内724千円を使用した。

第4表

## 消 費 収 支 内 訳 表

平成26年4月 1日から  
平成27年3月31日まで

## 消 費 収 入 の 部

(単位 千円)

科 目 \ 部 門	滋賀短期大学	滋賀短期大学 附属高等学校	滋賀短期大学 附属幼稚園
学生生徒等納付金	676,083	397,594	34,497
手数料	12,221	27,566	195
寄付金	2,899	8,634	68
補助金	108,392	261,277	48,229
国庫補助金	108,298	0	0
地方公共団体補助金	94	261,277	48,229
資産運用収入	16,213	12,217	1,042
資産売却差額	4,080	3,520	400
事業収入	341	0	5,943
雑収入	49,435	36,183	0
帰属収入合計	869,664	746,991	90,373
基本金組入額合計	△ 62,536	△ 51,322	△ 477
消費収入の部合計	807,128	695,669	89,896

## 消 費 支 出 の 部

(単位 千円)

科 目 \ 部 門	滋賀短期大学	滋賀短期大学 附属高等学校	滋賀短期大学 附属幼稚園
人件費	580,421	451,720	71,729
教育研究経費	211,301	157,597	28,731
管理経費	48,167	26,744	976
借入金等利息	0	2,956	0
資産処分差額	3,835	2,352	735
徴収不能額	0	243	0
消費支出の部合計	843,724	641,612	102,171

第5表

## 貸借対照表

平成27年3月31日

(単位 千円)

科 目		年度等		増	減
		平成26年度末	平成25年度末		
資 産 の 部	固定資産	[ 4,441,939 ]	[ 4,364,990 ]	[ 76,949 ]	
	有形固定資産	( 2,951,748 )	( 2,997,188 )	( △ 45,440 )	
	土地	333,352	333,352	0	
	建物	2,034,538	2,110,178	△ 75,640	
	構築物	53,420	60,835	△ 7,415	
	機器備品	244,715	215,608	29,107	
	図書	274,775	271,720	3,055	
	車輛	10,948	5,495	5,453	
	その他の固定資産	( 1,490,191 )	( 1,367,802 )	( 122,389 )	
	引当特定資産	1,489,445	1,367,056	122,389	
	電話加入権他	746	746	0	
	流動資産	[ 723,927 ]	[ 676,008 ]	[ 47,919 ]	
	現金預金	610,310	542,235	68,075	
	未収入金	112,207	130,187	△ 17,980	
	前払金他	1,410	3,586	△ 2,176	
	資産の部合計 (A)	5,165,866	5,040,998	124,868	
負 債 の 部	固定負債	[ 394,972 ]	[ 414,889 ]	[ △ 19,917 ]	
	長期借入金	134,330	169,860	△ 35,530	
	退職給与引当金	260,642	245,029	15,613	
	流動負債	[ 366,822 ]	[ 313,169 ]	[ 53,653 ]	
	短期借入金	35,530	35,530	0	
	未払金	36,221	22,300	13,921	
	前受金	273,499	232,047	41,452	
	預り金	21,572	23,292	△ 1,720	
	負債の部合計 (P)	761,794	728,058	33,736	
基 本 金 (C)	5,535,582	6,305,921	△ 770,339		
消 費 収 支 差 額 (G)	△ 1,131,510	△ 1,992,981	861,471		
(P) + (C) + (G)	5,165,866	5,040,998	124,868		

## 第6表

## 財 産 目 録

平成27年3月31日

I 資産総額	5,165,866 千円
内 基本財産	2,937,481 千円
運用財産	2,228,385 千円
II 負債総額	761,794 千円
III 正味財産	4,404,072 千円

区 分	金 額
<b>資 産 額</b>	
1 基本財産	2,937,481 千円
土地	44,401 m <sup>2</sup> 330,033 千円
建物	25,841 m <sup>2</sup> 2,034,538 千円
図書	103,933 冊 274,775 千円
教具・校具・備品	4,617 点 244,715 千円
その他	157 点 53,420 千円
2 運用財産	2,228,385 千円
現金預金	610,310 千円
積立金	1,489,445 千円
その他	128,630 千円
<b>資 産 総 額</b>	<b>5,165,866 千円</b>
<b>負 債 額</b>	
1 固定負債	394,972 千円
長期借入金	134,330 千円
その他	260,642 千円
2 流動負債	366,822 千円
短期借入金	35,530 千円
その他	331,292 千円
<b>負 債 総 額</b>	<b>761,794 千円</b>
<b>正味財産 (資産総額 - 負債総額)</b>	<b>4,404,072 千円</b>

## V 監事監査報告書

平成27年5月19日

### 監 査 報 告 書

学校法人純美禮学園  
理 事 会 御中  
評 議 員 会 御中

学校法人 純 美 禮 学 園

監 事 山根 晋 雄

監 事 馬場 章

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人純美禮学園寄附行為第14条の規定に基づき、学校法人純美禮学園の平成26年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の学校法人の業務の状況及び財産の状況について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

#### 1 監査の方法の概要

理事会に出席し、理事、法人事務局等から業務の執行状況を聴取するとともに関係資料を閲覧し、業務及び財産の状況を監査しました。また、公認会計士山本智三氏並びに香本明彦氏の両人から監査状況の報告を受けるとともにそれらを参考として計算書類等に検討を加えました。

#### 2 監査の結果

- (1) 学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 学校法人の財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 財産目録、貸借対照表、収支計算書及び事業報告書は、法令及び寄附行為に従い正しく示しているものと認めます。

以 上

<参考資料>

◆「学生・生徒・園児数」<平成27年5月1日現在>

◇滋賀短期大学

年次 学 科	1	2	計
生 活 学 科	81	71	152
幼児教育保育学科	171	151	322
ビジネスコミュニケーション学科	96	64	160
計	348	286	634

◇滋賀短期大学附属高等学校

学 年 科	1	2	3	計
普 通 科	199	207	179	585
人間総合科	49	50	42	141
計	248	257	221	726

◇滋賀短期大学附属幼稚園

	3歳児	4歳児	5歳児	計
園 児 数	50	60	58	168